

平成 20 年 7 月 22 日

各 位

不動産投信発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号  
六本木ヒルズ森タワー

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員

鈴木 博之

(コード番号：8981)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役

鈴木 博之

問合せ先 管理本部長

板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2008 年 6 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2008 年 6 月度の月次総売上げ並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

## 記

ホテル名/項目	客室稼働率 (%)	ADR(円)	RevPAR(円)	売上高(百万円)
神戸メリケンパークオリエンタルホテル	75.7%	14,499	10,975	543
オリエンタルホテル 東京ベイ	77.8%	16,731	13,017	485
なんばオリエンタルホテル	81.4%	10,307	8,390	152
ホテル日航アリビラ	74.9%	22,916	17,164	394
オリエンタルホテル広島	62.3%	8,469	5,276	173

上記開示に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（資産運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門については、前月より引き続き比較的単価の安いインターネット商品の販売が奏功し、稼働率は前年同月を上回り、同部門のRevPAR及び売上は前年同月を上回る結果となりました。婚礼部門においては件数増加により前年同月を上回る売上となり、一般宴会部門、レストラン部門は前年同月を下回ったものの、ホテルの総売上は前年同月を約27百万円上回る水準となりました。

オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

TDR25 周年の集客効果が本格化したことにより、宿泊部門については、ADR は前年を下回ったものの、稼働率を伸ばして、結果的に売上は前年同月を上回りました。レストラン部門は、前年に主要レストランの一つが改装だったことの反動もあり、売上で前年を上回りました。宴会部門は婚礼宴会が対前年で減少したことから前年同月の売上を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約 22 百万

円上回りました。

#### なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、ビジネス需要が好調に推移したこと等により、稼働率が略横ばいの中、ADR を前年同月比で伸ばすことに成功して、ホテル全体の売上は前年同月より約 1 百万円上回りました。

#### ホテル日航アリビラについて

宿泊部門では、ADRは下げたものの、稼働率が上昇し、RevPAR及び売上は前年同月を上回りました。料飲部門は、一般宴会が好調に推移する一方で、レストラン収入が減少し、前年の売上を下回りました。結果として、ホテルの総売上は、前年同月を約5百万円上回る結果となりました。

#### オリエンタルホテル広島について

宿泊部門について、ADR は前年同月を上回ったものの、**学会の開催数の月ずれの影響**により客室稼働率が減少した結果、同部門の RevPAR 及び売上は前年同月を下回る結果となりました。レストラン部門においては、前年同月を下回る売上になったものの、宴会部門においては、婚礼宴会・一般宴会の件数が双方ともに増加したため、前年同月を上回る売上となりました。結果として、ホテルの総売上は約 173 百万円となりました。

- 
- 注 1) 上記のコメントは運用会社が貸借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。
- 注 2) 各月の数字については監査等の手続を経していないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される 6 ケ月間及び年間の売上合計と合わない場合もあります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。
- 注 3) ADR : 平均客室販売単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計 (サービス料を除きます。) を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- 注 4) RevPAR : 販売可能客室数当たり宿泊部門売上 (Revenue Per Available Room) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADR と客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。
- 注 5) 客室稼働率については小数点第 2 位を、ADR、RevPAR については小数点第 1 位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

以上

\* 本投資法人のホームページアドレス : <http://www.jhrth.com/>